

庁内ヒアリングシート I (全課: 審議会等への幅広い層の参画促進)

参考資料4-1

計画の項目	担当課名	R6調査(記入箇所) ※調査対象課は、R1・R4で回答のあった課としています。				第2次計画総括			
		関連する事業の有無	事業名	該当事業の有無 ①取り組んだ ②取り組んでいない ③その他	担当課としての評価 (③その他の理由も詳しく)	第2次計画期間中の取組方針 1 拡大実施 2 継続実施 3 見直し・改善 4 終了・廃止	左記(J列)の理由	成果・課題	今後の取り組み方針
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	政策企画課	有	審議会・委員会の開催日時について、委員に日程調整を行った上で、極力全員参加できる日時となるよう取り組んだ。 現在、委員の公募については行っていないが、高校生の参画など幅広い層からの参画を促進している。	①取り組んだ	審議会・委員会の開催日時について、委員に日程調整を行った上で、極力全員参加できる日時となるよう取り組んだ。 現在、委員の公募については行っていないが、高校生の参画など幅広い層からの参画を促進している。	2	引き続き委員の出席に配慮して、審議会・委員会を開催する。	【成果】 審議会・委員会の開催日時について、委員に日程調整を行った上で、極力全員参加できる日時となるよう取り組んだ。 委員の公募については行っていないが、高校生の参画など幅広い層からの参画を促進している。	依頼する委員に負担がないよう、日程調整や就任依頼を行う。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	人事課	有	職員衛生委員会 公務災害補償等認定委員会 公務災害補償等審査会	②取り組んでいない	少人数で委員に専門性が求められる内容の会議であるため、公募制は馴染まないと考えられる。			【課題】 【課題】	
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	秘書広報聴課	有	自治功労者等審査委員会	③その他	自治功労者等審査委員会については、自らが自治功労者等で旧町の人を良く知っておられる有識者で組織することとしており、公募制の活用等はそぐわない。	2	自治功労者等審査委員会については、自らが自治功労者等で旧町の人を良く知っておられる有識者で組織することとしており、公募制の活用等はそぐわない。	【成果】 公募は行っていないがR4の任期満了による委員改選時に、女性割合が0%から約43%に向上した。 【課題】 自治功労者等における女性割合自体が低い。	自治功労者等審査委員会については、自らが自治功労者等で旧町の人を良く知っておられる有識者で組織することとしているため、公募制の活用等はそぐわないが、人選にあたっては女性の参画を積極的に検討する。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	総務防災課	有	防災会議、国民保護協議会	①取り組んだ	あて職による委員構成のため、会議の開催は平日の午後が多くなっている。委員構成については、防災会議は、令和4年度に比べ1人増の6名となり、国民保護協議会については、令和4年度から引き続き5人である。 女性委員の割合はともに約20%である。 また、地域防災計画など防災における重要事項を審議するため、委員の公募はしていませんが、さまざまな分野から委員に参画いただいています。	2	当て職が基本のため、女性を増やすことには限りもあるが、努めた。	【成果】 防災会議、国民保護協議会において、一定の数の女性委員の登用を行った。 【課題】 目標値である女性委員比率40%が達成できていない。	女性委員比率40%を達成するため、引き続き委員に構成される部署・団体等に働きかけを行う。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	財政課	有	京丹後市行財政改革推進委員会	①取り組んだ	令和5年10月からの委員構成は、12人のうち女性8人となり女性比率が半数を超えた。また、2人を公募により選任(女性)し幅広い層からの参画に努めた。開催日時については事前に予定を伺い日程調整している。	2	幅広い層からの参画を促進するため	【成果】計画期間の後半については、女性比率が半数を超えることが出来た 【課題】公募委員について、女性が応募しやすいよう努める	引き続き、女性委員の確保に努め、幅広い層からの参画促進に努める
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	財政課	有	京丹後市行財政改革推進委員会	①取り組んだ	令和5年10月からの委員構成は、12人のうち女性8人となり女性比率が半数を超えた。また、2人を公募により選任(女性)し幅広い層からの参画に努めた。開催日時については事前に予定を伺い日程調整している。	2	幅広い層からの参画を促進するため	【成果】計画期間の後半については、女性比率が半数を超えることが出来た 【課題】公募委員について、女性が応募しやすいよう努める	引き続き、女性委員の確保に努め、幅広い層からの参画促進に努める
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	市民課	有	交通安全対策会議 男女共同参画審議会 自動車廃物判定委員会 いじめ問題調査委員会	①取り組んだ	一部審議会において公募制を実施。開催日については委員のスケジュール調整を行い、開催日を配慮するよう努めているが、有識者の日程を優先する場合もあり、参加しづらい審議会等がある。	2	性別や年齢にかかわらず、あらゆる立場の方からの参画を促進するため	【成果】 女性比率は66.7%。各団体に対して、推薦依頼をする際に男女バランスに配慮するよう伝えた。 【課題】 審議会委員の男女比率に偏りがある。	人選にあたっては、男女比率に大きな差が生じないよう男女バランスに配慮するよう努める。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	生活環境課	有	廃棄物減量等推進審議会 美しいふるさとづくり審議会	①取り組んだ	識者を対象とした委員枠では困難なものの、充職の枠において考慮した推薦等を依頼した。	2	審議会、委員の増減予定はないため	【成果】 2審議会で男性12人女性12人の構成比 【課題】 依頼の候補者、引受手、女性は少ない	引き続き、男女共同参画を心がける
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	生活福祉課	有	健康と福祉のまちづくり審議会	①取り組んだ	スケジュール調整を行い、可能な限り委員全員が参加してもらえるよう運営に努めている。	2	可能な限り委員全員が参加してもらえるようスケジュール調整を工夫する。	【成果】 スケジュール調整を行い、可能な限り委員が参加してもらえるよう運営に努めた。 【課題】 全員の参加に努めるが、人数が多いた	引き続き、審議会開催時は早い段階でスケジュール調整を行い、可能な限り委員全員が参加してもらえるよう運営に努める。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	障害者福祉課	有	・認定審査会 ・自立支援協議会	③その他	・認定審査会は、専門性が問われ公募制は馴染まない。(開催日は、第3木曜日に固定化)。 ・自立支援協議会は関係機関や障害者団体で組織しており公募制をとっていない。開催日は事前調整をしている。	4	・認定審査会委員は、専門性が問われ公募制は馴染まないため。 ・自立支援協議会委員は、関係機関や障害者団体で組織しており公募制をとっていないため。	【成果】 会議開催に向けて、関係者との事前調整を行い、円滑な運営に努めた。 【課題】 委員には専門的な知識や経験が求められる	京丹後市条例等の規定を踏まえ、関係機関との連携を一層強化し、専門性を有する適切な委員の選任に引き続き努めていく。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	長寿福祉課	有	介護認定審査会	③その他	介護認定審査会委員は、専門性が問われ公募制は馴染まないものの、開催日を固定化した上で、年度当初に年間開催日程を決定し、可能な限り委員全員が参加してもらえるよう運営に努めている。	2	介護認定審査会は、介護サービスの利用に当たった根拠となる高齢者等の要支援・要介護認定の審査・判定を行う合議体であり、継続した開催が必要となるため。	【成果】 定期開催とするとともに、年度当初に年間開催日を連絡することで、可能な限り委員全員が参加してもらえるよう運営に努めている。	定期開催とするとともに、年度当初に年間開催日を連絡することで、引き続き、可能な限り委員全員が参加してもらえるよう運営に努めていく。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	健康推進課	有	予防接種健康被害調査委員会	①取り組んだ	健康被害が生じた場合の調査内容は非常に専門性が高く、かつ速やかに処理を進める必要があり、また個人情報を扱うため、公募制の導入は考えていない。	2	健康被害が生じた場合の調査内容は非常に専門性が高く、かつ速やかに処理を進める必要があり、また個人情報を扱うため、公募制の導入は考えていない。	【成果】 健康被害が生じた場合の調査委員会を速やかに開催。計10件の実績あり 【課題】	健康被害が生じた場合、速やかに委員会が開催し、処理できるように、委員の任期交代に係る委嘱を行う。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	商工振興課	有	①工業団地工場用地譲受人審査選考委員会 ②新経済戦略推進会議	①取り組んだ	①の委員は条例により、商工団体の役員とその他市長が適当と認めるものとされている。市長が適当と認めるものは、不動産鑑定士や税理士等の専門知識を持つ者を選任しており、選考委員会の役割として性別にこだわるものではない。ただし、商工団体の役員として女性が登用が少ないことが課題。 ②の委員については業種、専門分野等を踏まえ、男女の意見が偏りなく反映されるよう委員の選定に努めている。	4	①②両方とも令和6年度からの継続の会議であり、委員の変更もなし。また、令和7年度で終了。	【成果】 ②については、性別や年齢、様々な分野の業種の方々に委員を委嘱し、様々な角度からの意見がいただけるようにした。 【課題】 委員を委嘱する所属団体の役員として女性が登用が少ない。	令和7年度で終了
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	観光振興課	有	観光立市推進会議	①取り組んだ	委員には観光事業者も多く、女性委員も多いため、開催日時、時間は十分調整した上で設定している。	2	引き続き委員等からの意見を踏まえ日程等の調整を図っていく。	【成果】 女性委員の増加など、幅広い層からの参画が促進された。 【課題】	引き続き委員等からの意見を踏まえ日程等の調整を図っていく。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	都市計画・建築住宅課	有						【成果】 【課題】	

庁内ヒアリングシート I (全課: 審議会等への幅広い層の参画促進)

計画の項目	担当課名	関連する事業の有無	事業名	該当事業の有無 ①取り組んだ ②取り組んでいない ③その他	担当課としての評価 (③その他の理由も詳しく)	第2次計画期間中の取組方針 1 拡大実施 2 継続実施 3 見直し・改善 4 終了・廃止	左記(J列)の理由	成果・課題	今後の取り組み方針
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	経営企画整備課	有	京丹後市上下水道事業審議会	①取り組んだ	開催にあたる日程調整は全委員を対象とし、全員参加を前提に可能な限り配慮しながら進めている。選出委員においても、地区や職種等の偏りが生じないよう、市民局の推薦も活用しながら、広く多様な人選に繋げている。	2	これまで同様、委員の参加しやすい日時での審議会開催に努めるとともに、選出委員についても地区や職種等の偏りが生じないよう、市民局の推薦も活用し、広く多様な人選を行っていく。	【成果】 事前に日程調整することで、委員が出席しやすいよう心掛けた。 本計画策定時の女性委員比率は33.3%であったが、直近の第7期女性委員比率は55.6%となった。 【課題】 地域代表については、市民局の推薦により決定しているため、公募制の導入が困難である。	幅広い層からの参画促進のため、これまで同様、委員の参加しやすい日時での審議会開催に努めるとともに、委員の選出においても、市民局の推薦を活用する。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	学校教育課	有	いじめ防止対策等専門委員会	③その他	いじめ防止対策等専門委員は、設置条例により、弁護士、医師、臨床心理士等の専門性の高い委員5名で構成することとしており、各職能団体からの推薦により委嘱している。そのため、公募や広い層からの参画はなじまないと考え。	2	いじめ防止対策等専門委員会は、学校や関係機関と連携し、効果的な予防策や迅速な対応策を検討・推進する役割を担っており、事業継続していく必要がある。	【成果】 公募制とはしていないが、令和7年度の委員5名の構成は男性2名、女性3名となっている。 【課題】	いじめ防止対策等専門委員は、設置条例により、弁護士、医師、臨床心理士等の専門性の高い委員5名で構成することと定められていることから、引き続き各職能団体からの推薦により委員を委嘱していく。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	教育総務課	有	京丹後市奨学金選考・検討委員会事業	①取り組んだ	令和6年、女性委員の委嘱が4割を達成することができた。また、個人情報を取扱うため委員を公募制とすることは馴染まないと考え。	2	令和6年、女性委員の委嘱が4割を達成することができた。また、個人情報を取扱うため委員を公募制とすることは馴染まないと考え。	【成果】令和6年、女性委員の委嘱が4割を達成することができた。 【課題】個人情報を取扱うため委員を公募制とすることは馴染まないと考え。	引き続き幅広い層からの参画促進に努めます。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	こども未来課	有	こども未来まちづくり審議会	①取り組んだ	開催日時については、事前の調整や審議会の中で開催日の調整をしながら開催している。関係団体からの推薦等により委員を委嘱している。	2	子ども・子育て支援に関する調査、研究及び審議を行う組織として、引き続き委員の男女構成比のバランスをとりながら運営する。	【成果】 多様化する子育て支援ニーズへの対応などについて、男女を含め様々な立場からの知見や意見をもとに事業を審議することができた。 【課題】 審議会の開催日時の調整等により、委員の出席率の向上を図る。	これまでに「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理、評価並びに見直し計画策定に係る審議のほか、子育て支援施策に関する答申も行ってきた。 引き続き、子ども・子育て支援に関する調査、研究及び審議を行っていくことにより、すべての子育て世帯や子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	生涯学習課	有						【成果】 【課題】	
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	文化財保存活用課	有	○京丹後市文化財保護審議会 ○京丹後市史跡整備検討委員会 ○京丹後市文化財保存活用地域計画協議会 ○京丹後市市民遺産会議	③その他	会議の開催日程については、委員の意見や予定を踏まえ決定している。なお委員に専門性が求められる部分もあり、現状では公募制の導入は考えていない。	2	委員に専門性が求められる部分があるため、現状では公募制の導入は考えていないが、各種委員会等の開催は必要のため事業継続を行っていく。	【成果】 条例改正を行い市外在住の学識経験者を登用することでより高い知見を求めることができたこと。また、前回調査時より大幅に女性委員の比率を上げることができた。 【課題】 専門性の観点から委員候補を幅広く求めることが困難である。	文化財保護審議会をはじめ各種委員会は、専門的な知見を要することがあるので、公募制の活用等はそぐわないが、人選にあたっては女性の参画を積極的に検討する。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	監査委員会事務局	有	固定資産評価審査委員会	③その他	委員定数は6名で旧町から1名選任、一定の専門性や職務経験による習熟度が求められるため、公募制の導入は考えていない。委員会の開催については、委員の意見を聞きながら調整し、開催している。	2	公募制の実施は考えていないが、より幅広い層からの参画促進に努める。	【成果】 委員の任期がR7. 6. 3で満了し、次期委員の選定を行った際、幅広く選定を行った 【課題】	委員の任期が3年であるため、R10年度も今回と同様に、幅広く人材の選定に努める。
審議会等の開催日時への配慮や公募制の活用等によって、より幅広い層からの参画促進に努めます。	農業委員会事務局	有						【成果】 【課題】	